(一社)岩手県山岳・スポーツクライミング協会
第 210 号
令和元年 8 月 31 日発行
https:// iwatesankyo.or.jp/

山協ニュース

（一社）岩手県山岳協会名称変更

一般社団法人岩手県山岳
・スポーツクライミング協会へ

昨年 5 月一般社団法人に移行した（一社）岩手県山岳協会ですが、本年 5 月 18 日の定時総会において、名称が「一般社団法人岩手県山岳・スポーツクライミング協会」に変更になりました。

上部団体である公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会は平成 27 年 6 月 1 日より名称変更を行ったこと。国民体育大会山岳競技が本年度からスポーツクライミング競技と名称変更したこと。2020 東京オリンピックにおいてスポーツクライミング競技がオリンピック追加種目として採用され、国民的関心と普及が図られていること。更に 2024 パリオリンピックにおいて開催都市推薦追加種目に予定されていること。また、岩手県の配慮で全国有数のスポーツクライミング拠点施設整備が進んでいることから、一層のスポーツクライミングの普及振興を期かるためスポーツクライミング統括団体としてより分かり易い競技団体名とするものです。

今後とも(一社)岩手県山岳・スポーツクライミング協会は、登山と山岳スポーツ及びスポーツクライミングを活動の柱として活動していきますので引き続き、変わらぬ御指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年度定時総会報告

一般社団法人岩手県山岳協会は 5 月 18 日（土）サンセール盛岡で、社員総数 44 名中本人出席 24 名委任状　17 名　計　41 名のもと開催されました。

開催にあたり髙橋時夫会長の挨拶の後、来賓として協会顧問の盛岡市長代理伊瀬谷渉市民部長の祝辞、議長は定款第 20 条により、一般社団法人岩手県山岳協会会長髙橋時夫氏、議事録署名人に三

浦拓男氏(玉山会)と中村桂悦氏(巖鷲山岳会)を選出した。議事は、議案第 1 号　平成 30 年度一般社団法人岩手県山岳協会事業報告について原案のとおり決定、議案第 2 号平成 30 年度一般社団法人岩手県山岳協会収支決算報告について一部転記ミスを指摘されたが原案のとおり決定、議案第 3 号一般社団法人岩手県山岳協会定款の一部改正（名称変更）について満場一致で原案のとおり決定した。尚、定款変更の効力発行日は令和元年 6 月 1 日とした。議案第 4 号一般社団法人岩手県山岳協会役員の選任について小野寺修事務局長より定款第 53 条の規定により理事 18 名が本定時総会の終結と同時に任期満了し、退任することになるので、その改選が必要であるとともに、退任の申出があった理事髙橋時夫、菅原一志の後任者の選任が必要となる旨の説明があった。その選任方法について、一般社団法人岩手県山岳協会役員候補者選考規程第３条より役員候補者選考委員会を設置し同４条より委員会を開催し、各加盟団体等より役員候補者の推薦をいただき同６条に基づき 18 名の役員候補者を理事会に答申した。5 月 10 日開催の第 1 回理事会において審議しその 18 名の役員候補者を決定した。理事会より候補者として、次の方が提案さ

れ、植田瑞穂、遠藤敏英、小山勝稔、小野寺修、小船光浩、佐藤幸久、佐藤　誠、島崎操一, 十二林良治、武田勝栄、千葉真英、土井祐之、中島隆之、新田亮一、畠山　晃、村上良則、山口吉男、吉田春彦の 18 名が選任された。尚、なお、被選任者は全員それぞれの就任を承諾されております。報告第 1 号 令和元年度一般社団法人岩手県山岳協会事業計画について、報告第２号　令和元年度一般社団法人岩手県山岳協会予算について，報告第３号　平成 30 年度岩手県山岳協会事業報告・収支決算について，報告第 4 号　クライミングアジア選手権盛岡 2020 大会について、報告第 5 号　一般社団法人岩手県山岳協会パートナー会員制度について、報告第 6 号　岩手県営運動公園登はん施設ボルダリング場整備について畠山晃専務理事小野寺修事務局長よりそれぞれ説明があった。

令和元年度第 2 回理事会報告

定時総会を受けて、一般社団法人岩手県山岳協会第 2 回理事会が、5 月 18 日（土）サンセール盛岡で午後 3 時 10 分より開催された。議案第 1 号　一般社団法人岩手県山岳協会定款第 26 条第 2 項の規定に基づき会長（代表理事）、副会長及び専務理事の選任について、議案第 2 号　定款第 35 条第 1 項第 5 号の規定に基づく部長の選任について、審議され新体制が決定された。（後段報告）

令和元年残雪期講習会

兼指導員研修会の報告

１ 開催期日：令和元年 5 月 18 日（土）19 日（日）
２ 会場：秋田駒ヶ岳（森山荘宿泊）
３ 参加者：〔指導員〕土井祐之、中島隆之、田所一志、渡邊美智子、出堀宏明、古澤勝三、諏訪木秀夫、阿部陽子、西舘正治、足立勝、菊池美雪、〔検定〕遠藤光志、

村上友志〔会員〕土村啓明、及川真紀、駒込幸夫、八重樫鶴代、福田由貴、岩間博美、高橋瑞穂、高橋勇一、高橋万見子、澤口誠〔一般〕床尾明子、小野寺暁子　25 名

４　報告

18 日（土）17 ; 00 受付で、国見温泉森山荘に参加者が集まった。開講式の後に、机上講習として出堀さんから「残雪期講習会を行う必要性について」中島さんから「熱中症」について、土井から「ナビゲーション」についての３つの講習を実施。大変充実した内容となった。机上講習の後は、楽しい懇親会。

19 日（日）6 : 00 に出発。「出発が遅い。雪が早朝の硬いうちに雪上訓練をすべき。」というご意見もいただき、来年度以降検討したい。

8;00 に通称ムーミン谷の残雪にて雪上訓練を実施。出堀さんから、キックステップの基本について実演していただき、その後、丁寧に指導していただいた。「基本がしっかりしていれば、雪が固く傾斜がきついところでも歩くことができる。」ということで、しっかりした姿勢になるようお互いがチェックし合いながら訓練した。直登、直下降、斜登降、ｱｲｾﾞﾝによる歩行、ピッケルストップ等、皆真剣に練習した。

その後、上級者はSABの仕方について講習を行い、SAB を利用しながら男岳山頂を目指した。初・中級者はｱｲｾﾞﾝ訓練の後、夏道から男岳山頂を目指した。顧問会議において、講習会のハードルが高く参加しずらい

成績

種 別	選　手	監督	B	L	総合
成年男子	山内 響、坂本祐樹	畠山 晃	2	1	1
成年女子	金澤千怜、立花里美	長谷川健太	1	3	2
少年男子	大賀羽玖、本明優哉	千葉真英	2	1	2
少年女子	工藤朝花、三角唯香	昆 脩太	3	3	3

県別総合

県名	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島
順位	5	1	1	4	6	3
得点	18	60	60	39	15	45

のではないかというご意見をいただいておりましたので、今回は出堀さんのご協力をいただき、最も基本である、氷雪期登山においては最も大切であるキックステップ（歩行技術）についてしっかり訓練することができたのは大変有意義であった。

今回、指導していただいた「幻のキックステップ」の指導をこれからもしっかり伝授していきたい。

第46回東北総合体育大会 スポーツクライミング競技総合優勝

7月26日（金）から28日（日）、福島県で行われた東北総合体育大会は成年男子が優勝、成年女子と少年男子が2位、3チームが茨城国体への出場権を確保しました。善戦しましたが惜しくも少年女子は3位となり国体への出場はなりませんでした。出場権を確保した3チームは入賞を目指して残された期間全力で頑張ります特に、岩手国体以来出場権を獲得した成年女子チームは経験を生かした上手な試合運びが光りました。本大会での活躍を期待します。県別総合は宮城県と優勝を分け合いました。

10月4日から茨城県鉾田市で開催される国体に出場します。引き続き応援をお願いします。

岩手山八合目避難小屋を支える ボッカ大将

6月8日(土)、本格的な夏山シーズンを迎え、登山者の安全と快適な登山をサポートする岩手山八合目避難小屋の管理に欠かせない物資の荷上げを行う岩手山ボッカ大将2019が開催されました。ボッカ大将には、15 団体の協力を仰ぎ、50 名の方々に参加していただき、総荷上げ重量 991.47 kg を荷上げして頂きました。一人当たり、男子が21.96 kg、女子が13.08 kgでした。今年の男子ボッカ大将の村上友志さん（岩手アルペンローズ）で 56.22kg、女子の部は髙橋瑞穂さん（日本山岳会岩手支部）で 26.18ｋｇでした。ご協力頂きましたみなさんありがとうございました。

岩手山ボッカ大将の成績　　（単位:ｋｇ）

順位	男　子	女　子
1	村上友志(ｱﾙﾍﾟﾝ)56.22	髙橋瑞穂(日本山岳会)26.18
2	渡辺良平(翌檜)55.82	及川真紀(北上)23.82
3	及川秀明(北上)46.78	佐藤弘子(巌鷲)14.80
4	小松涼(ＲＣＣ)34.24	蝦夷森礼子(福岡)13.76
5	土井祐之(北上)32.82	蛇口良子(ＲＣＣ)12.16
6	駒込幸夫(北上)31.92	
7	千田浩(ＲＣＣ)31.92	
8	前田義則(滝沢)31.00	
9	齊藤政人(巌鷲)30.04	
10	澤口誠(日本山岳会)27.90	

協力団体　翌檜山岳会、北上山岳会、岩手アルペンローズ、滝沢市山岳協会、盛岡RCC、巌鷲山岳会、盛岡山想会、日本山岳会岩手支部、矢巾山好会、都南山岳会、福岡山好会、高体連登山専門部、岩大山の会、ＪＲ盛岡、高山植物山想会

南部九州インターハイ
盛岡第一高校　女子団体３位入賞
岩手高校　男子団体４位入賞

第63回全国高等学校登山大会は、宮崎県高千穂町祖母山系を会場に８月２日(金)から８月６日(火)までの５日間にわたり開催されました。

女子の盛岡第一高校は、97.2点２年ぶりの表彰台、男子の岩手高校は、98.2点で３位と同点ながら歩行点の差で４位となった。両チームとも岩手の競技レベルの高さを遺憾なく発揮して立派に戦って頂きました。暑さにも負けず健闘した岩手高校、盛岡一高の選手、監督の皆さんに拍手を送りたいと思います。

それぞれの監督からのコメントです。

「昨年度の三重インターハイを経験したメンバーで挑んだ宮崎大会。もちろん昨年の結果を越えることを目標に生徒たちは頑張りました。事前合宿では大雨のなか必死に下見。意識は高くチームとしての雰囲気も上々で大会に突入しました。

結果がメダル獲得の３位校と同点。規定により４位という悔しい結果を生徒たちは経験してきました。０．１点の重みを再認識させられてきました。それでも生徒達には良い経験ができたと思います。この経験をこれからの人生に活かしていってもらえれば恩の字です。

応援してくださった全ての方々に感謝します。ありがとうございます。」

熊谷宗平・門舛銀河・一戸　藍・菊池誠

「昨年、読図を一つ落としてしまい、７位と入賞を逃してしましました。今年は何が何でも読図満点をとるという高い意識のもと、準備してきました。事前に準備してきたことは、ほぼ完璧に本番で力を出し切ることができたので、生徒も３位という結果には満足しています。

体力・歩行の点数が伸びず、優勝までとどかなかったので、この点が今後の課題として取り組んでいきたいです。

多くの方々の応援、本当にありがとうございました。」

佐藤里咲・舘成美・佐藤百恵・山下ちひろ

【全国成績】

男子　１位　長崎北陽台(99.5)　２位　前橋(98.6)　３位　神戸(98.2)、**４位　岩手(98.2)**

女子１位　富士(98.6)　２位　長崎北陽台(97.7)　**３位　盛岡一(97.2)**

沢登り講習会兼指導員研修会報告

１　期　日　令和元年８月４日（日）

２　場　所　雫石町　葛根田渓流　南白沢

３　時　間　6:50 開講式（滝ノ上温泉駐車場）　7:10 行動開始　7:30 入渓　8:50 F１　10:20 F2　14:30 千沼ヶ原　16:30 平倉沼登山口　17:10 閉講式

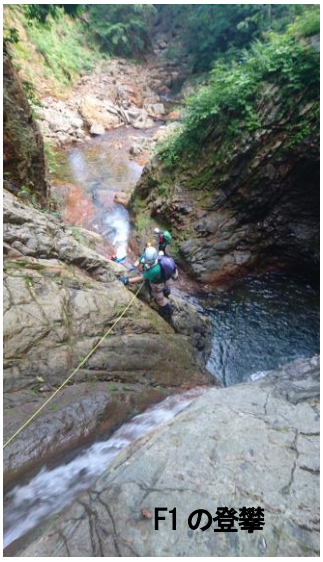
４　参加者　11名　北上山岳会から４名

駒ヶ嶺智裕（講師：北上山岳会）　土井祐之（指導部：北上山岳会）及川真紀（北上山岳会）　高野正則（北上山岳会）

５　報告

今回の沢登り講習会兼指導員研修会に 11 名の方々に参加していただいた。

南白沢はこれまでも何度か県山協の講習会兼研修会で利用してきた沢だ。盛岡から近く、距離的にも短い沢だが、個性的な滝も多く、登攀技術、ナビゲーション技術を学ぶには、最適な沢だと考えている。今回はできるだけ時間短縮するために、千沼ヶ原に抜けるルートを選択し平倉沼登山口に下山するよう設定した。下部は５つの砂防ダムを通過し、F１に取りつく。F１は流水の右側の壁を登る。駒ヶ嶺君が直登ルート、土井がトラバースルートの２本ロープを伸ばし、受講者はアッセンダー等でフォローした。直上していた１名が行き詰まりフォール！ケガはなく途中で止まった。F2 は流水の左側にルートを取


F1 の登攀

り、水しぶきを浴びながらのクライミング。ここは水の中にホールドを求めると簡単に登ることができる。

核心部のＦ５は、摂り付き付近のホールドが乏しく、苦戦する受講者が多く、ドボン連発。また、上部の出口付近で滑落した受講者もおり、下で待機していた５名は滝の左側の草付きを高巻いた。

F5 より上部は、小さな滝がいくつも現れるが、ロープを出すことなく通過する。また、枝沢が現れる場所では、必ず地図を広げ場所の確認・評価を行った。

水流がなくなり、100m 程のブッシュ帯を通過し予定していた千沼ヶ原に到着。やや、体力を消耗し下山に時間のかかった受講者もいたが、大きく遅れることなく平倉沼登山口に到着する。

今回の講習会では、全体を２グループに分け登攀技術、ナビゲーション技術の習得に力を入れた。天気にも恵まれ、充実した楽しい講習会兼研修会になったと実感している。

受講生の皆さん、お疲れ様でした。

（報告：土井祐之）

F2 の登攀

千沼ヶ原にて

岩登り講習会兼指導員研修会報告

１　期　日　令和元年８月 25 日（日）

２　場　所　北上市展勝地公園　陣ケ丘の岩場

３　時　間　9：20 開講式講習　9：30 講習開始 14：00 閉講式

４　参加者　13 名　田所一志（講師：岩手アルペンローズ山岳会　土井祐之（北上山岳会）渡邊美智子（岩手アルペンローズ山岳会）　遠藤光志（八幡平市山岳協会、検定）　村上友志（岩手アルペンローズ山岳会、検定）　駒込幸夫（北上山岳会）　高野正則（北上山岳会）　吉田克彦（盛岡山想会）　吉田みさこ（岩手アルペンローズ山岳会）　吉田誠（岩手アルペンローズ山岳会）　亀田みちる（一般）　小野寺暁子（一般）　佐藤慎吾（一般）

５　報告

今年度は北上市の展勝地公園、陣ケ丘の岩場にて、アルパインクライミングの基本についての講習会とした。

9；20 に開講式を行い、講師より今回の講習の趣旨について説明があった。

まず、クライミング中に自分の命を守る基本であるセルフビレイの取り方について説明を受けた。特に、2 本のアンカーを利用した半固定半流動分散によるセルフビレイについて説明を受け、その後、実際に行ってみた。次にバックアップロールにアッセンダーでサポートし、トップクライミングを体験した。バックアップロープでサポートを行っているもののトップはやっぱり緊張する。トップロープでの講習会はこれまで何度か行ってきたが、トップでプロテクションをセットしながらの講習は今回が初めてである。なかなか、セカンドからトップクライマーへ育成するところにハードルを感じていたが、このシステムならば安全に行うことができ有効であると感じた。実際に、スリ

ップする受講生もいたが、ケガすることなく安全に行うことができた。全員がトップで登り、ビレイをを体験するのに昼近くまでかかったが、良い体験になったと感じた。

その後、マルチピッチを想定し、登攀終了点から懸垂下降を行う方法についての講習を行った。終了点でセルフビレイを確実に取り、メインロープをはずし懸垂下降ができるようセット。スリングでバックアップを取り懸垂下降を行った。懸垂下降を行う際、メインロープに体重をかける時が最も緊張する瞬間である。

午後2時に終了し閉講式を行う。田所講師から、「繰り返し練習すること、実践を行うことで身につく。」と講評があった。

受講生の皆さん、お疲れ様でした。技術を確実に身に付け、楽しく安全な山登りをしましょう。

令和元年度東北六県山岳連盟(協会)連絡協議会

令和元年度東北六県山岳連盟(協会)連絡協議会は、5月11日(土)と12日(日)の二日間、青森県十和田市の十和田湖温泉郷八戸市民保養所 「洗心荘」で(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会会長八木原圀明氏をはじめ、東北ブロック六県の会長、理事長、担当部長等21名が出席して開催された。

全体会では、八木原会長の講話で、「高校生の部活動は山岳部は減る傾向だが部員数は増加になっているようだ。卒業後は地元の山岳会でその部員を吸い上げるようになれば活性化するのではないか。また最近決まったコースの登山をやるのはいるが、激しい山をやる人が少なくなった。寂しい現状だ。山歩きだけの登山は寂しい。トレランの協会が日山協に入ってきてほしい。スポーツクライミングの関係ではお金は増えているが、億で入って来てプラスして出ていく状況だ。」との要旨のお話を頂きました。

会議初日の全体会では、東北ブロック代表理事の宮城岳連会長の吉田弘司氏より日山協報告をいただいた。創立60周年記念事業募金活動についての協力、ｽﾎﾟｰﾂｸﾗｲﾐﾝｸﾞ関係では2020東京オリンピックにあたり、予算・事業とも大きな比率を占めてきている。未組織者に山岳保険加入の働きかけ、夏山リーダー制度を浸透させ遭難防止、人材育成を進める。今までの理事制度が変わる。これまでは常務理事会があり、それを理事会が追認する形であったが、専門委員会の提案事項が理事会で決定される形になる。個人会員制度（ITADAKI）について。各岳連に向け法人化、名称変更を進めている。八木原國明会長より世界選手権八王子大会の話、山の日の補助金が出なくなった件の周知が遅くなった件についてお詫びの言葉があり代わりに法人化する岳連に10万円の補助金でる旨の話があった。青森岳連から法人化の説明会があるというので行ってみたら10県しか来ていなかった。

理事会の体制が変わり東北ブロックからの代表理事がいなくなるということで、岩手県から東北ブロックの意見を述べる組織を立ち上げてはどうかという提案を行った。賛成意見は多数あったが八木原國明会長よりそんなことをしなくても日山協は聞く耳は持っている。隋時窓口は開いている旨の説明があり見送ることとした。いずれ東北六県は今後とも協力していく必要がある。特にも弱いスポーツクライミング部を底辺拡大して強化していってはどうかという意見も出された。

2025 青森国体の施設情報、各山域の登山情報として、吾妻山、栗駒山、八甲田山、岩木山の情報があった。最後に髙橋時夫会長より日山協副会長退任の挨拶があった。当協会出席者　髙橋時夫、吉田春彦、小山勝稔、山口吉男、小野寺修

第１回理事会開催報告

令和元年５月 10 日（金）　19 時 20 分～21 時 00 分
場　所　盛岡市　(公財)岩手県体育協会・会議室
出席者　髙橋会長、吉田、小山の各副会長、植田、佐藤(誠)、小野寺、土井、山口、村上、佐藤(幸)、千葉(真)、十二林、新田の各理事、遠藤監事、盛合監事
20 名中　15 名出席　欠席者　菅原、武田、畠山、遠藤、中島、

最初に　髙橋会長より、5 月 18 日の定時総会に向けて準備についてよろしくお願いしたい。5 月 13 日にクライミングアジア大会実行委員会が設立され、いよいよ本格的な準備に入る。大会成功に向けて準備に万全を期することとなる。

定時総会に伴い現理事は任期満了となり新たな理事選任となる。自分はかねて表明していた通り退任する。10 年 6 ケ月皆さんに支えて頂き会長職を全うできた。皆様のご協力に感謝する。と理事会での最後の挨拶となる旨の挨拶があった。

議事

(1)第 5 回理事会議事録の承認について
一部修正し、提案のとおり承認した。

(2)平成 30 年度一般社団法人岩手県山岳協会事業報告について(別紙)一部修正し、提案とおり承認した。

(3)平成 30 年度一般社団法人岩手県山岳協会決算報告について(別紙)一部修正し、併せて、監事より監査結果について説明があり、提案とおり承認した。

(4)令和元年度一般社団法人岩手県山岳協会定時総会提出議案について　全会一致で承認した。

(5)任期満了に伴う理事候補の決定について
小野寺事務局長より、役員候補者選考委員会での答申があり、答申内容通り、全会一致で承認した

(6) スポーツクライミングジャパンツァー実施要領について(別紙)
小山副会長より説明があり、全会一致で承認した。

(7) 一般社団法人岩手県山岳協会クライミングアジア大会実行員会の設置について

・会長、副会長、専務理事、事務局長、各部長及び会長が指名する者で組織する一般社団法人岩手県山岳協会クライミングアジア大会実行員会を令和元年５月 10 日付けをもって設置する。

・実行委員会は、原則隔月回の割合で実行委員を開催し大会準備のための企画、準備にあたる。

小山副会長より説明があった。高体連行事との関りがあり人選等について変更を含め、主催者等と確認しながら進めることで一部修正し承認した。

(8)東北六県岳連(協会)の組織強化について(六県協提案事項の協議について)
吉田担当副会長より説明があり全会一致で承認した。

(9)２０１９年度岩手山八合目避難小屋の常駐期間等について（ 登山普及部)
山口普及部長より説明があり全会一致で承認した。

(10) 岩手山八合目避難小屋管理員の募集について（ 登山普及部)
山口普及部長より説明があり全会一致で承認した。

(11)２０１９岩手山ボッカ大将の開催について（ 登山普及部）山口普及部長より説明があり全会一致で承認した

(12)「岩手山の花と木」の出版について（ 登山普及部)
山口普及部長より説明があった。主体、監修、出版元等々、吟味しなければならない事案であり、高山植物山想会と再度調整することとし、保留とした。

(13)ジュニア登山について　（ 登山普及部)
ジュニア登山に高校生のボランティアを募集したい旨の説明が山口部長よりあったが、時期が高体連行事と重なっており、高体連と調整することとした。

(14)ボルダリング日本ユース選手権大会への選手等の派遣について
5 月 17 日～20 日まで、選手 6 名を派遣することについて全会一致で承認した。　引率は、小山副会長

(15)第二回コンバインドジャパンカップへの選手派遣について
選手 3 名を派遣することについて全会一致で承認した

(16)一般社団法人岩手県山岳協会の名称変更に伴う略称について

日本版　県山協(ケンサンキョウ)
英版　　IMSCA(アイエムエスシエ)又は「イムスカ」
IWATE MOUNTAINERING SPORTS CLIMBING ASSOCIATION
　髙橋会長より、名称変更後の略称について提案があり、今後の検討課題とした。

6　報告事項
(1)事務局
・業務執行状況報告について
・加盟団体長、名誉会員、顧問懇談会報告について
(2)指導部
・残雪期講習会兼指導員研修会について　現在23名の参加者あり
・全国指導員総会・研修会について
・全国遭難対策委員会総会・研修会について
・沢登り講習会兼指導員研修会について（別紙提案）
・岩登り講習会兼指導員研修会について（別紙提案）
・夏山リーダー養成講習会について（別紙提案）
更に検定に10,000円　登録に3,000円かかるとのこと
(3)登山普及部
　岩手山八合目避難小屋の夏季小屋への切替作業について

第３回理事会開催報告

令和元年６月５日（水）　19時～21時00分
場所　盛岡市　(公財)岩手県体育協会会議室
出席者　吉田会長、小船、武田、小山の各副会長、畠山専務理事、植田、佐藤(誠)、小野寺、土井、中島、遠藤、山口、村上、島崎、新田の各理事、　遠藤監事、盛合監事　　20名中　17名出席
欠席者　佐藤(幸)、十二林、千葉(真)　３名
　吉田春彦新会長より、抱負、方針等の挨拶があった。
　議事
(1)　第１回理事会議事録の承認について
　　全会一致で承認した
(2)　第２回理事会議事録の承認について
　　全会一致で承認した
(3)　前会長髙橋時夫氏本協会顧問委嘱及びJMSCA参与について
　小野寺事務局長より、定款、名誉会員・顧問及び参与に関する規程より顧問就任への提案があり、全会一致で承認された。
　　また、同様に（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会への参与推薦が承認された。
(4)　規程の改正議案（総務部）
　定款における名称変更に伴い、下記規程について、同様に「岩手県山岳協会」を「岩手県山岳・スポーツクライミング協会」に改める変更の提案があり承認された。
　尚、定款及び規定についてホームページに掲載していくことも報告された。
①一般社団法人岩手県山岳協会名誉会員，顧問及び参与に関する規程
②一般社団法人岩手県山岳協会加盟団体規程
③一般社団法人岩手県山岳協会表彰規程
④一般社団法人岩手県山岳協会組織･管理運営規程
⑤一般社団法人岩手県山岳協会賛助会員に関する規程。
⑥一般社団法人岩手県山岳協会パートナー会員規程。
(5)県民体育大会実施細目について（競技運営部）
　別紙資料の通り、遠藤部長より提案された。
　山岳競技からスポーツクライミング競技への変更、年号の変更等一部修正のうえ、提案通り承認された。
(6)「山の日」記念事業「地域住民との交流登山」2019について（登山普及部）
　　提案のとおり承認された。
(7)　岩手山薪荷上げ登山について（登山普及部）
　　一部修正し、提案のとおり承認された。
(8)日本の名峰・雨飾山・米山　登山募集について（登山普及部）
　　提案のとおり承認された。
(9)ジュニア教室について
　　山口普及部長より提案があり、指導者について、新人等の起用を含め一部修正し提案のとおり承認された。
(10)　ジャパンツアーについて（ＳＣ部）
　　日程等について畠山ＳＣ部長、遠藤競技運営部長より説明があり提案のとおり承認された。
　　尚、人員配置、細部の準備について質問があり、今後提案することとした。
(11)　１年２年親子クライミング体験教室について
　　名称等一部修正し提案のとおり承認された。
(12)「岩手山の花と木」の出版について
　　前回保留となっていた件について、山口普及部長より説明があり、主体は「高山植物山想会」であり、本協会は手伝いの形で協力していく旨の提案があり承認された。
(13)　会計業務について
　　村上総務副部長より会計業務について、別紙の通り提案があり次の件が承認された。
（ア）登山普及部の八合目避難小屋で使用の携帯電話に

ついて法人契約に移行すること
（イ）登山普及部、収益事業の通帳を開設すること（4番目の通帳になる）
（ウ）通帳等の名義変更
（エ）郵便振替口座開設（赤刷り）
尚、支出兼仕訳伺書の様式変更について、監査より指摘があり保留となる。

6　報告事項
(1)　事務局
小野寺事務局より下記について説明があった。
・登記申請について
・東北六県岳連(協会)協議会 5.11-12
・2020アジア大会実行委員会設立総会及び実行委員会 5.13
(2)　指導部
土井指導部長より下記研修会について説明があった。
尚、「指導員」の名称は「コーチ」に変更とのこと。
明細は別紙の通り。
・全国指導委員長会議、研修会について
・令和元年残雪期講習会兼指導員研修会(5.18-19)について
(3)　登山普及部
(4)　競技運営部
スポーツクライミングいわてカップ2019兼国体選手選考会
(5)スポーツクライミング部
伊藤ふたばの現在の状況について説明があった。
(6)　高体連
高校総体(裏岩手連峰)登山競技　5.31-6.2について報告があった。

第４回理事会開催報告

令和元年８月７日（水）　19時～20時30分
場所　盛岡市　(公財)岩手県体育協会会議室
出席者　吉田会長、小船、武田、の各副会長、植田、佐藤(誠)、小野寺、土井、中島、山口、村上、十二林の各理事、遠藤監事、　　20名中　12名出席
欠席者　小山、畠山、遠藤、島崎、佐藤(幸)、千葉(真)、新田　盛合　8名
議事
(1)　第3回理事会議事録の承認について
全会一致で承認した。
尚、小野寺事務局長より日山協で前会長髙橋時夫氏が正会員を退会し吉田春彦新会長が正会員に入会し、また高橋氏が参与に推薦され承認された旨の説明があった。
(2)「岩手県体育協会会館」修繕事業に関わる寄付金について
趣旨、目標金額等について説明があり、寄付することについては全会一致で承認された。尚、金額等については会長、会計、三役に一任することで承認された。
(3) 令和元年度各種表彰　被表彰者の推薦について
①　(一社)岩手県山岳協会上期表彰者について
副会長小山勝稔氏と理事佐藤誠氏に決定。
②　(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者表彰候補の推薦について
理事・指導員会長佐藤誠氏の推薦を決定した。
③　(公財)岩手県体育協会体育功労表彰者の推薦について
協会副会長の小山勝稔氏の推薦を決定した。
(4)規程の改正議案（総務部）
定款における名称変更に伴い、下記規程について、同様に「岩手県山岳協会」を「岩手県山岳・スポーツクライミング協会」に改める変更の提案があり承認された。
①一般社団法人岩手県山岳協会総会規程
②一般社団法人岩手県山岳協会会計処理規程
③一般社団法人岩手県山岳協会予算管理規程
④一般社団法人岩手県山岳協会事務局規程
⑤一般社団法人岩手県山岳協会理事会規程
⑥一般社団法人岩手県山岳協会積立金設置規程
⑦一般社団法人岩手県山岳協会役員候補者選考規程
(5)八幡平市山岳協会「山の日制定4周年記念講演会」への後援について
小野寺事務局長より説明があり、全会一致で承認された。
6　報告事項
(1)　事務局
・ＩＦＳＣ世界選手権2019八王子大会視察について
上記大会に、前半、小山、遠藤、小野寺の3名、後半、小山、畠山、小野寺の3名が現地視察に行くことについて小野寺事務局より説明があった。
(2)　指導部
土井指導部長より下記研修会について説明があった。
・　7月12日（金）夏山リーダー学習会　指導部6名参加　　現在、宮城より1名希望あり
・7月13日（土）運動公園第2回スポーツクライミング講習認定会　　11名認定
・7月20日（土）沢登り講習会現地視察2名
・8月４日（日）沢登り講習会兼指導員研修会

(3)　登山普及部

山口登山普及部長よりより下記について説明があった。

①ジュニア登山教室 in 岩手山２０１９について

②日本の名峰２０１９雨飾山・米山の中止について

③２０１９年度岩手山八合目避難小屋の状況について

④岩手山八合目臨時診療所開設について

⑤全日本登山大会岐阜大会について

⑥「岩手山の花と木」の編集委員会について

(4)　競技運営部

(5)　スポーツクライミング部

東北総体結果

(6)　高体連

副会長小船登山専門部長より説明有。

南部九州高校総体(宮崎県高千穂町祖母山系)結果

(7) その他

①岩手ｱﾙﾍﾟﾝローズ山岳会千葉富夫氏の行方不明について説明有。

９月連休に地元ガイドと連絡を取り捜索予定

②新設ボルダリング場について

③国体募金の実施

令和元・2年度(一社)岩手県山岳・スポーツクライミング協会理事・監事体制

会長　吉田春彦(都南)、**副会長**　小船光浩　(高体連担当)、武田勝栄(登山担当　厳鷲)、小山勝稔(SC 担当　翌檜)、**専務理事**　畠山　晃(北上)、**理事**　植田瑞穂(総務厳鷲)、佐藤　誠(登山　都南)、佐藤幸久(高体連　盛岡一高)、小野寺　修(事務局長　悠々)、土井祐之　(指導部長北上)、遠藤敏英(競技運営部長　矢巾山好)、山口吉男(登山普及部長　滝沢市山協)、村上良則(事務局次長会計担当　都南)、中島隆之(指導部副部長　北上)、千葉真英(競技運営部副部長　盛岡南)、十二林良治(登山普及部副部長　巌鷲)、新田亮一(SC 副部長　岩手高校)、島崎操一(ＳＣ担当、盛岡ＲＣＣ) **監事**　遠藤正紀(滝沢市山協)、盛合敏男(福岡)の各氏。

第 2 回理事、スタッフ合同会議報告

平成 31 年 6 月 13 日（木）19 時～21 時 00 分

場所　盛岡市　(公財)岩手県体育協会会議室

報告事項

(1)事務局

・前会長髙橋時夫氏本協会顧問委嘱及び JMSCA 参与について

・規程の改正議案（総務部）

・登山普及部の八合目避難小屋で使用の携帯電話について法人契約に移行すること

・登山普及部、収益事業の通帳を開設すること（4 番目の通帳になる）

・通帳等の名義変更

・郵便振替口座開設（赤刷り）

・登記申請について　終了

・東北六県岳連(協会)協議会 5.11-12

・2020 アジア大会実行委員会設立総会及び実行委員会 5.13

(2) 指導部

・全国指導委員長会議、研修会について

・令和元年残雪期講習会兼指導員研修会(5.18-19)について

(3) 競技運営部

・県民体育大会・国体選手選考会実施細目について

(4) 登山普及部

・「山の日」記念事業「地域住民との交流登山」2019 について

・岩手山薪荷上げ登山について

・日本の名峰・雨飾山・米山　登山募集について

・ジュニア教室について

・「岩手山の花と木」の出版について

(5) ＳＣ部

・ジャパンツアーについて

・1 年 2 年親子クライミング体験教室について

(6)高体連

・ 高校総体(裏岩手連峰)登山競技　5.31-6.2 について

協議事項

・ホームページについて

・夏山リーダー養成安全登山講習会について

いわて電力
IWATE ELECTRIC POWER